

個人投資家向け会社説明会



タキロンシーアイ株式会社

証券コード 4215 東証プライム市場

2023年12月

本日お伝えしたい事

▶ タキロンシーアイについて
(概要・理念体系・事業・製品)

P1~P24

▶ 業績推移および見通し・株価情報

P25~P29

▶ タキロンシーアイの強み・成長戦略

P30~P38





タキロンシーアイについて

数字で分る タキロンシーアイ

従業員数(連結)

 約3,200名

売上高・営業利益(連結)

  約1,450億円
約57億円
 
2023年3月期

国内の製造拠点



25拠点

海外の製造拠点(連結)



5拠点

歴史



創立104年

こんなところに
タキロンシーアイ

トンネルのセグメント用止水材

マンション共用廊下の
塩ビシート

農業用ハウスのフィルム

クリーンルームのパーテーション

カメラ用マイクロモータ

食品包装のジッパーテープ

ペットボトルのラベル

キッチン扉の化粧材

住宅の雨どい

カーポートの屋根材



■会社情報

商号	タキロンシーアイ株式会社
創立	大正8年(1919年)10月10日
設立	昭和10年(1935年)12月20日
本社	東京本社 〒108-6031 東京都港区港南二丁目15番1号 (品川インターシティA棟) TEL 03-6711-3700 大阪本社 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田三丁目1番3号 (ノースゲートビルディング) TEL 06-6453-3700
ウェブサイト	https://www.takiron-ci.co.jp
資本金	15,216百万円
従業員数(連結)	3,172名(2023年3月末現在)

■主要加入団体リスト

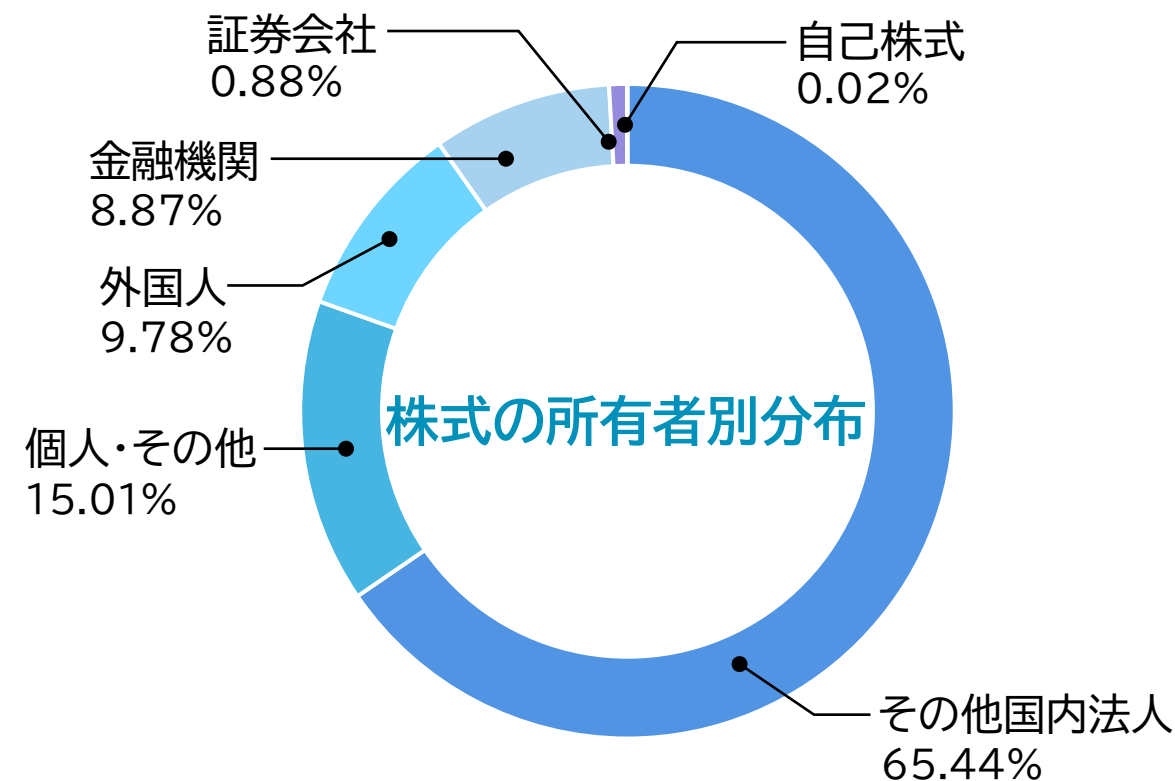
関西化学工業協会
関西経済連合会
CLOMA(クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス)
塩化ビニル管・継手協会
JA包装園芸資材協会
日本インテリア協会
日本ビニル工業会
日本プラスチック板協会
農業用フィルムリサイクル促進協会

■株式情報

証券コード	4215	上場証券取引所	東京証券取引所株式市場 プライム市場
発行済株式数	97,597,530株	株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
株主数	12,482名	会計監査人	有限責任監査法人トーマツ

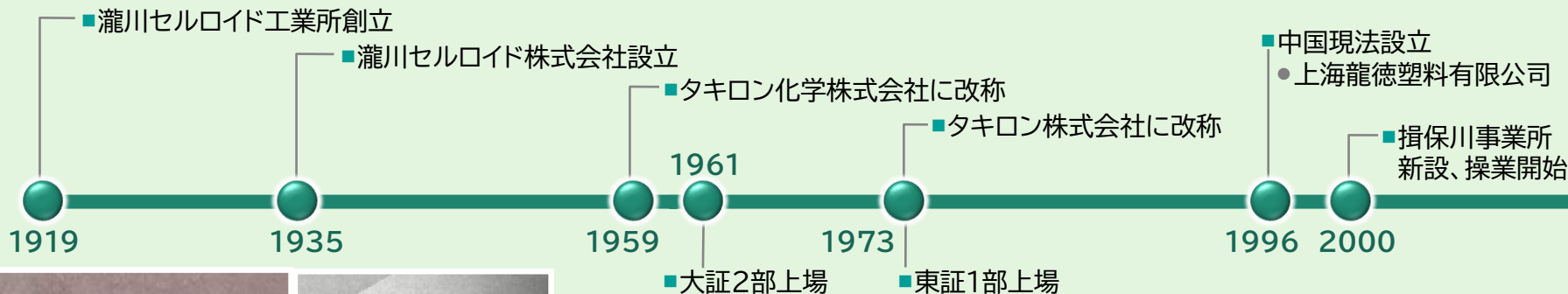
■大株主

株主名	持株比率(%)
伊藤忠商事株式会社	55.49%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5.91%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1.89%
タキロンシーアイ持株会	1.40%
株式会社カネカ	1.35%
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1.01%
渡辺パイプ株式会社	0.90%
積水樹脂株式会社	0.76%
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	0.52%
RE FUND 107-CLIENT AC	0.52%

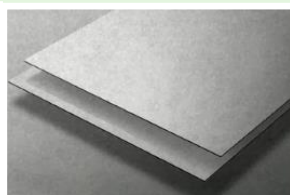


(注)持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

タキロン(株)

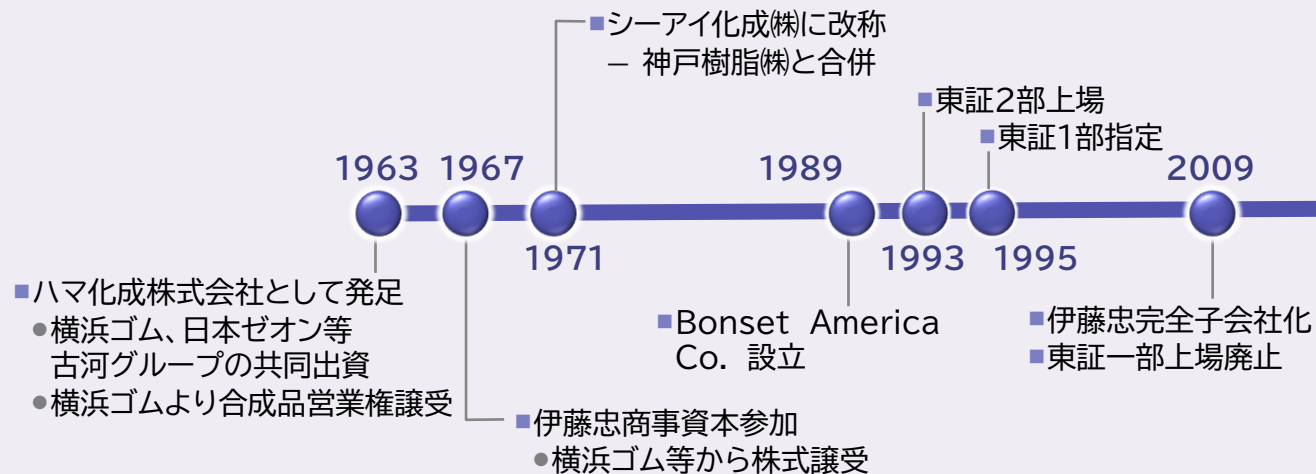


創業者: 瀧川佐太郎



シーアイ化成(株)

紙や木、鉄がプラスチックへと置き換わる中、堅調に事業を拡大



タキロンシーアイ(株)



2017 創立100周年

■経営統合

- タキロンシーアイ株式会社と
商号変更

国内製造拠点・研究所: 26拠点

(タキロンシーアイ単体)

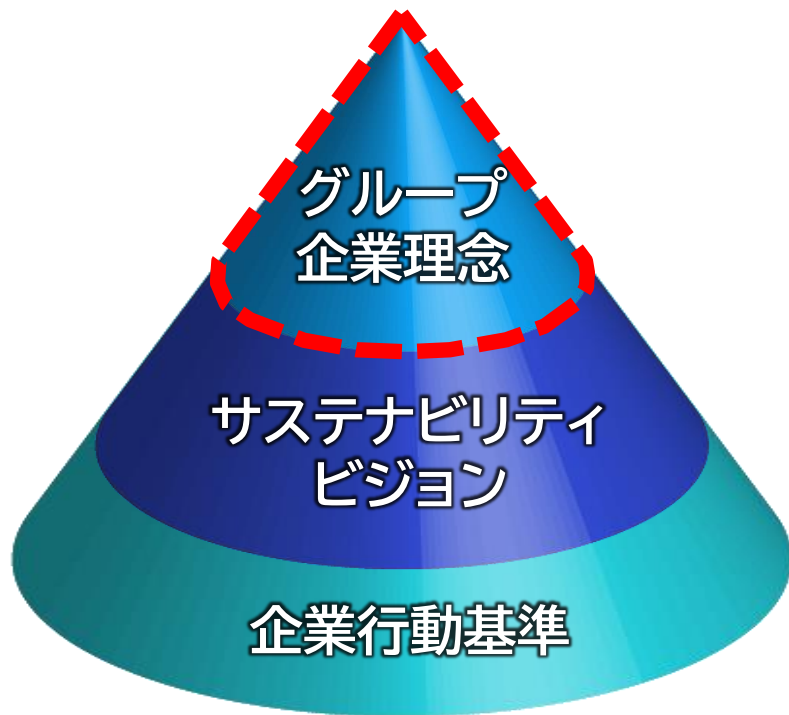
製造拠点	主要製造
網干工場	プレート製品 住設建材
揖保川事業所	採光建材
安富工場	床材
東京工場	住設建材
滋賀工場	農業用フィルム 建装資材
岡山工場	シュリンクフィルム
栃木工場	土木シート
平塚工場	ジッパーテープ
佐野工場	結束資材



海外製造拠点: 5拠点

BONLEX EUROPE
[イタリア ヴェネト]BONSET AMERICA
[アメリカ ノースカロライナ]上海希愛化成電子
[中国 上海]上海桑普拉斯塑料
[中国 上海]BONSET LATIN AMERICA
[ウルグアイ]

タキロンシーアイの理念体系



使 命

人と地球にやさしい未来を創造する

これまでに磨いてきた様々な経営資源を通じて、人びとの暮らしと地球環境に対し責任と役割を果たし続けるということ。

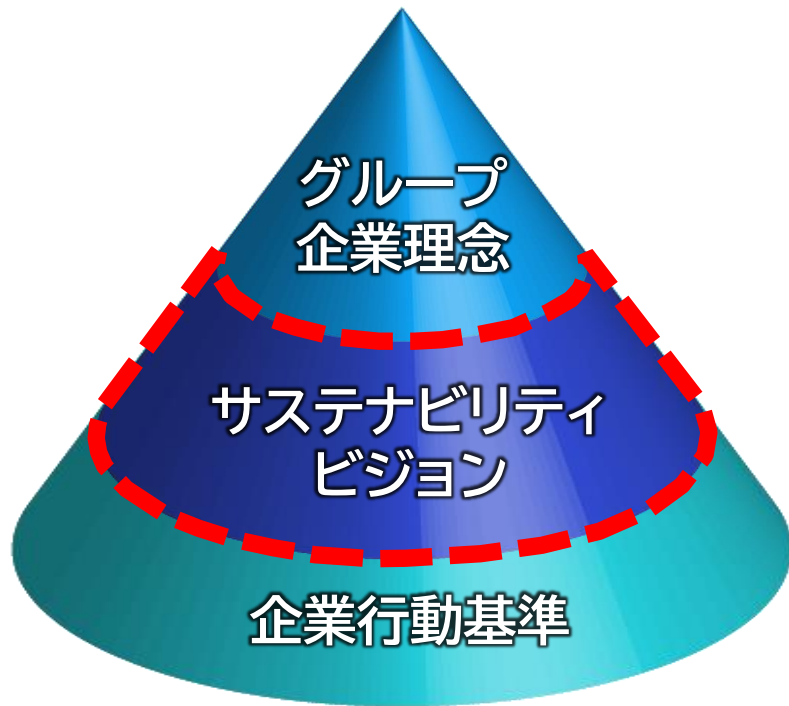
1919年の創立から、今日の暮らしを支え、明日の社会を変えてきたタキロンシーアイグループは、これからも「安心と心地よさ」という価値を未来に向けて創造する企業グループでありたいと考えます。

実現したい企業文化

重ねていく誇りと変革する勇気

使命を実現するために備えるべき大切なもの。

100年を超えて技術を磨き、信頼を積み重ねてきたことを私たちの「誇り」としつつも、現状に満足せず、自らの変革をいとわず、果敢に挑戦する「勇気」を常に持ち続けることを企業文化として育てていきます。



企業メッセージ

今日を支える、明日を変える。

タキロンシーアイグループは人々の今日の暮らしを支え、明日の暮らしを豊かで快適にするために自ら変革する勇気を持って人と地球と未来にやさしいものづくりに挑戦し続けます。



建築資材事業

高機能材事業

環境資材事業

機能フィルム事業

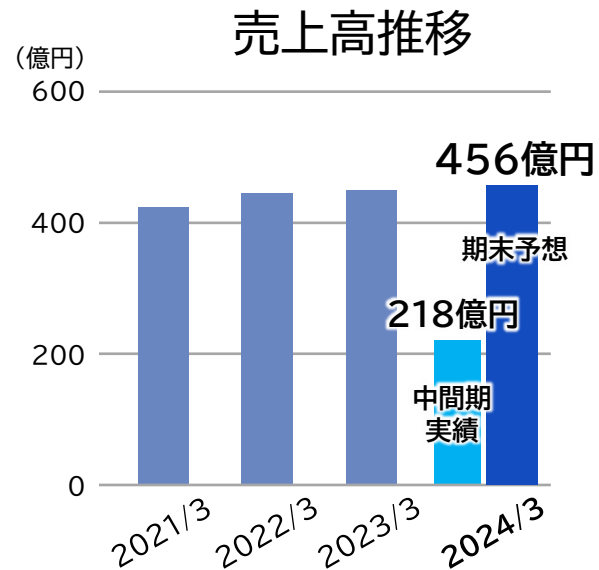
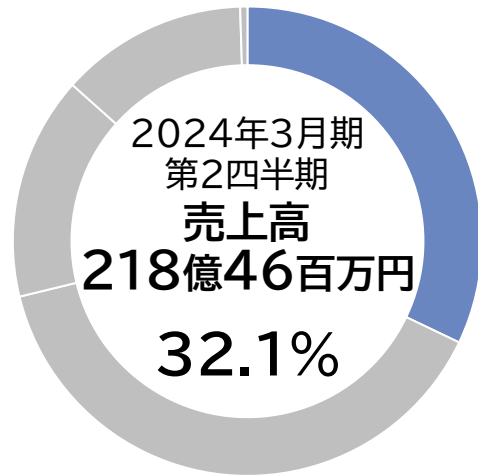
4つの事業領域

タキロンシーアイグループ

	国内	海外
建築資材事業 住設建材事業部 床・建装事業部	<ul style="list-style-type: none"> ● 三和サインワークス ● ミヨシ ● タキロンシーアイプラス <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ● タキロンマテックス 	<ul style="list-style-type: none"> ● BONLEX EUROPE
環境資材事業 アグリ事業部 インフラマテリアル事業部	<ul style="list-style-type: none"> ● 北海道サンプラス ● タキロンシーアイアグリ ● シーアイマテックス <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ● ダイライト ● タキロンシーアイシビル 	
高機能材事業 高機能材事業部	<ul style="list-style-type: none"> ● タキロンポリマー ● CIKナノテック ● タキロン・ローランド 	<ul style="list-style-type: none"> ● 上海希愛化成電子
機能フィルム事業 包材事業部	<ul style="list-style-type: none"> ● ボンパック 	<ul style="list-style-type: none"> ● BONSET AMERICA ● BONSET LATIN AMERICA ● 上海桑普拉斯塑料
その他グループ会社	<ul style="list-style-type: none"> ● タキロンテック ● タキロンシーアイ物流 ● ダイプラ・ウィンテス ● マーベリックパートナーズ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 上海世愛化成貿易



- 住設建材事業は、住宅から非住宅まで屋内への自然採光に幅広く使用される建材製品を扱っています。
- 床・建装事業は、安全を守る優れた防滑性能を有する床材と、インテリアや建築物の意匠性を高める化粧フィルムを扱っています。



住設建材事業



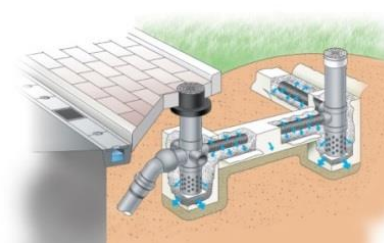
ポリカーボネート樹脂製
高断熱中空パネル「ルメウォール」



ポリカーボネート樹脂板



住宅資材(雨どい他)



管工機材

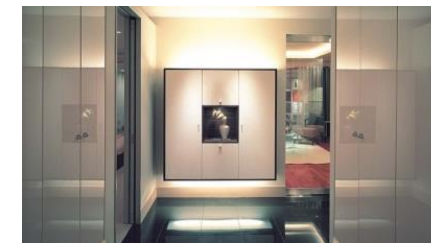
床・建装事業



防滑性ビニル床シート



内外装用建装資材



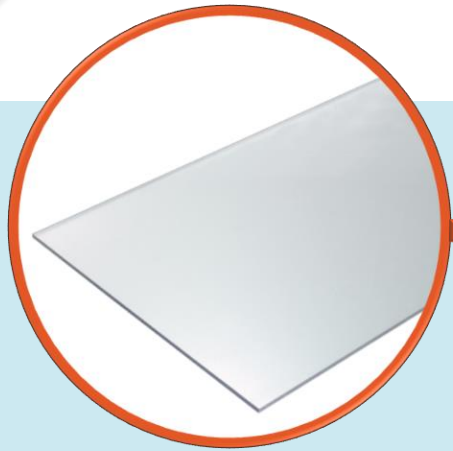
樹脂製化粧材

主要事業の強み

- ポリカーボネートの成形・加工技術
- ポリカーボネート建材における国内随一の製造能力
- トップシェアを有するポリカーボネート採光建材、防滑性塩ビ床材
- 建装材へ機能性を付与する総合的開発力
- 海外生産拠点(BLX)によるグローバル展開



採光建材

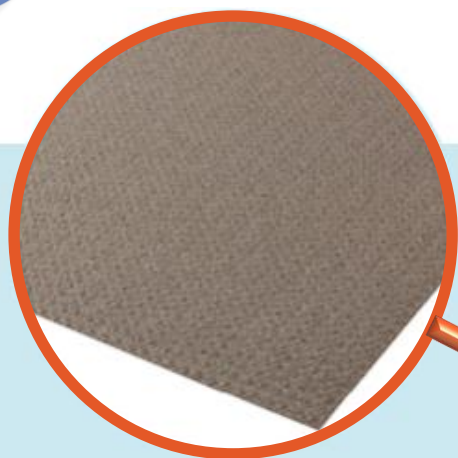


ポリカーボネート樹脂板
「ポリカーボネートプレート」

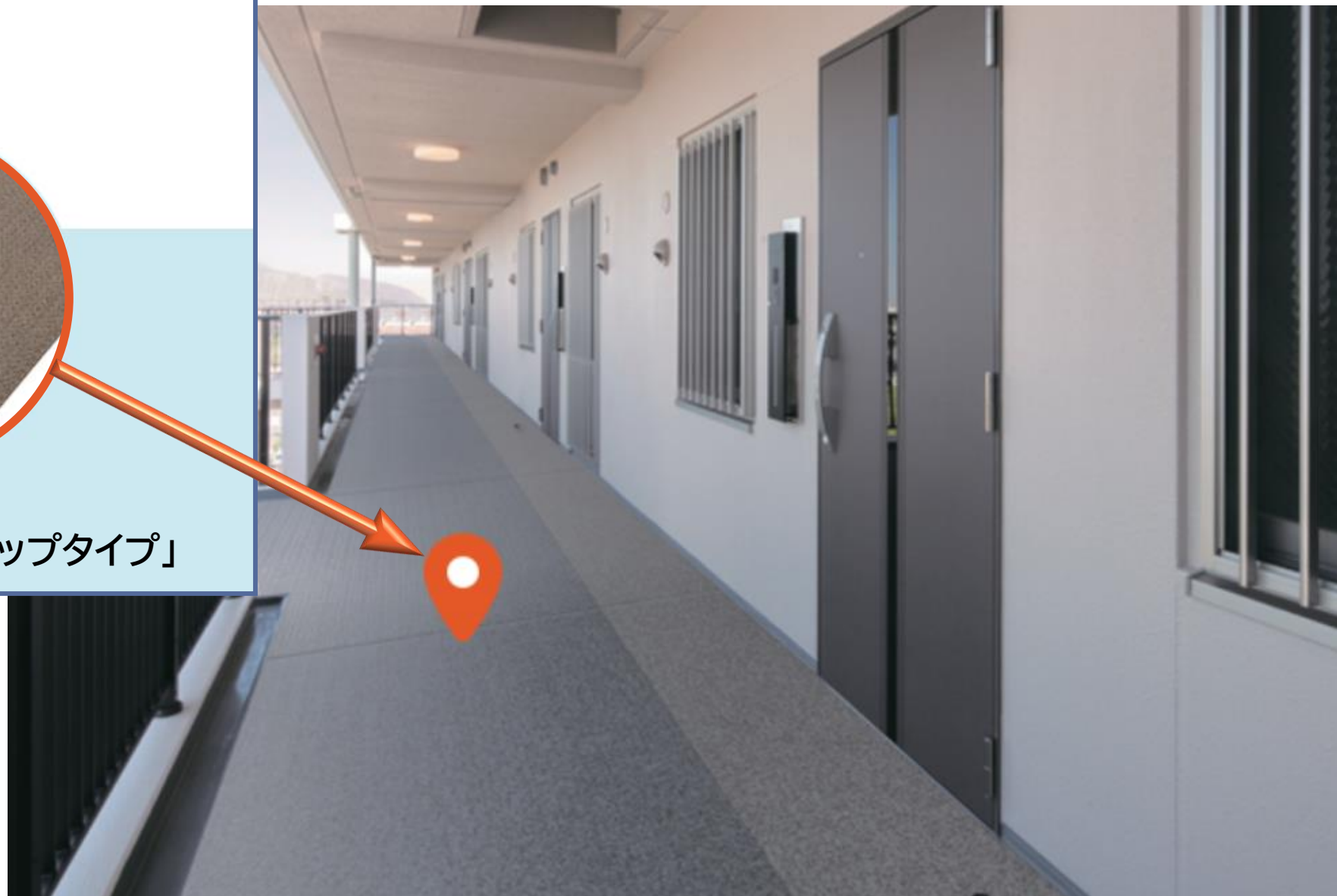




床材

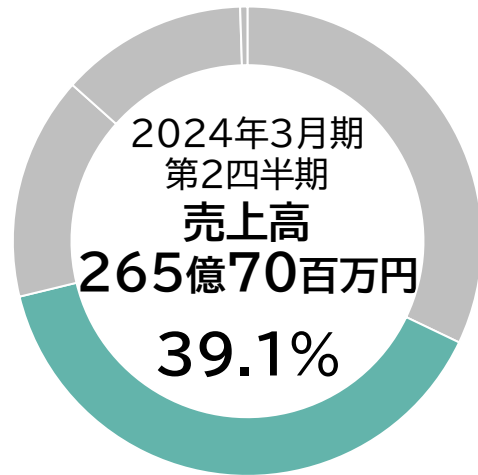


防滑性ビニル床シート
「タキストロン タフスリップタイプ」





- アグリ事業は高機能農業用フィルムを中心に、農業発展に貢献しています。
- インフラマテリアル事業は防水・遮水シート、高密度ポリエチレン管、その他関連資材の製造から施工までの展開で社会インフラを支えています。



アグリ事業

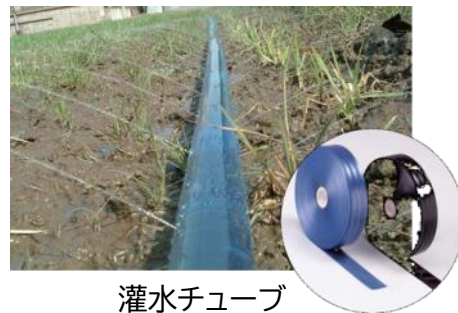
Top Market Share



農業用フィルム



包装資材



灌水チューブ

インフラマテリアル事業

Top Market Share



遮水シート

Top Market Share



止水板

Top Market Share

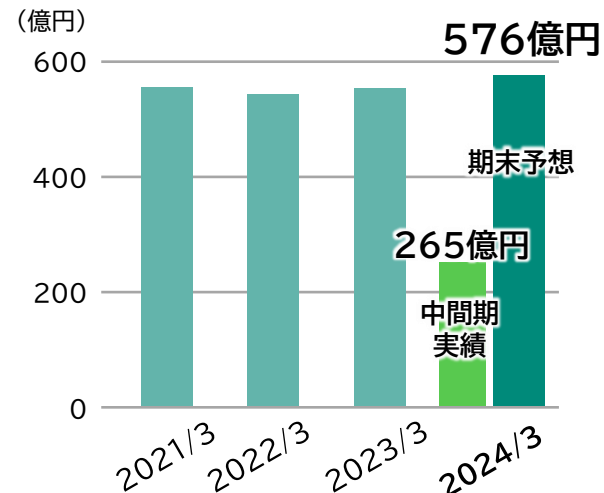


水膨張性止水材



高耐圧ポリエチレン管
(取扱:グループ会社)

売上高推移



主要事業の強み

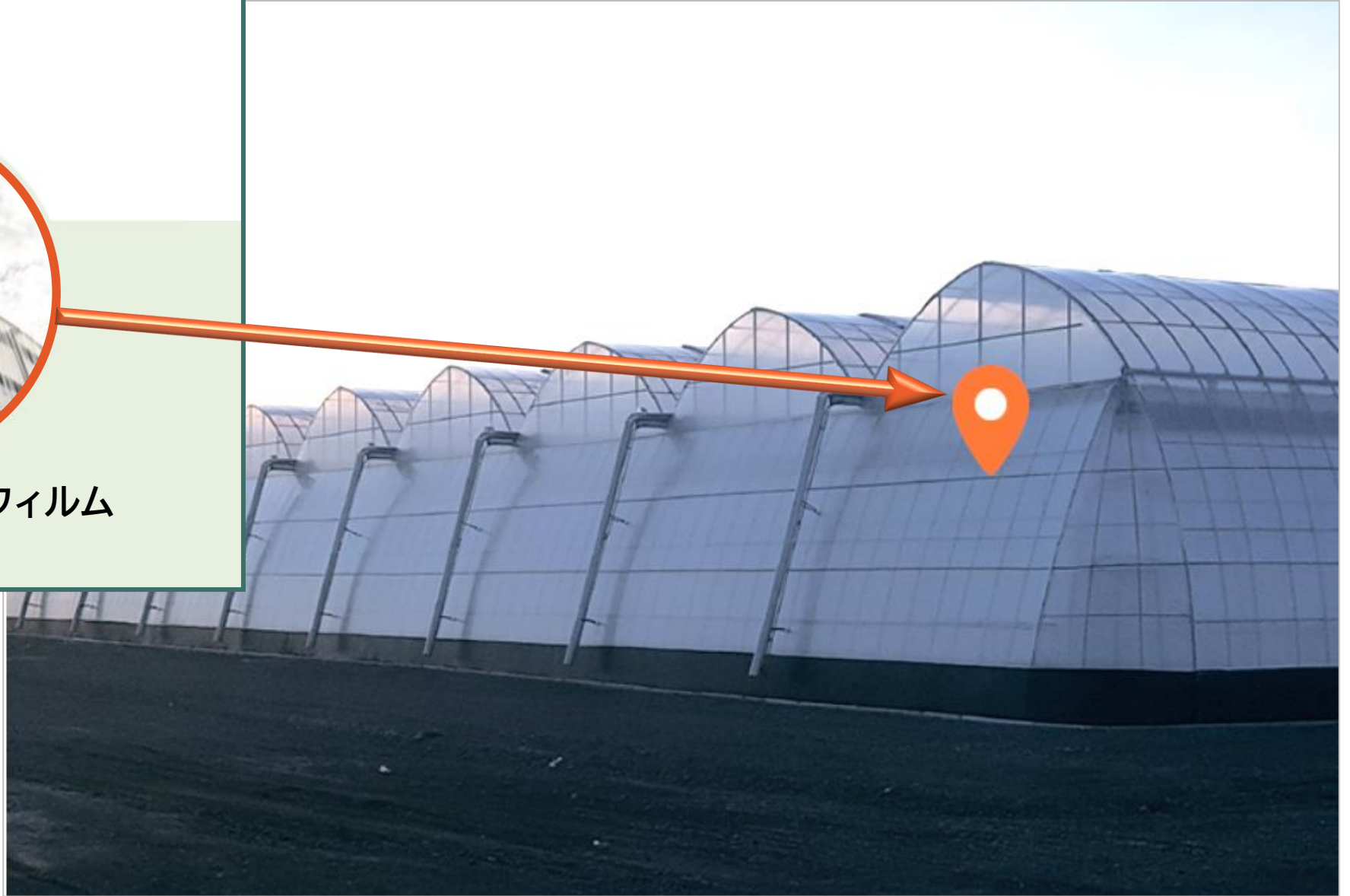
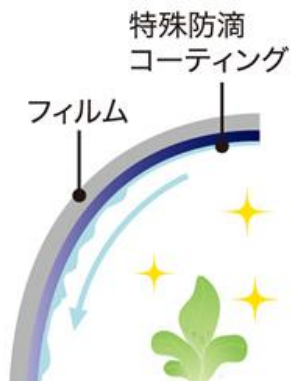
- 業界シェア
- 営業体制・顧客サポート力
- 生産技術力
- 製販から設計・加工・施工までの対応力



アグリ



農業用ポリオレフィンフィルム
「バツゲン5」





インフラ

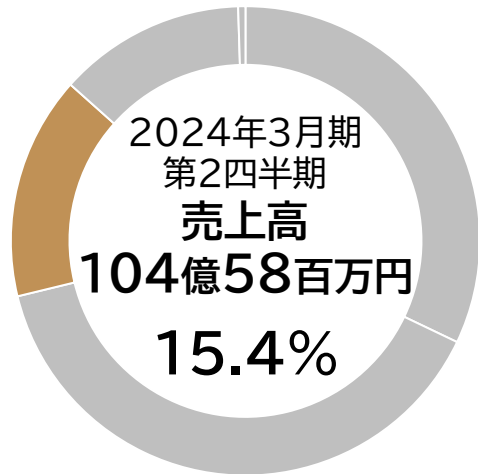


水膨張性止水材
「ビノン hidroタイト」

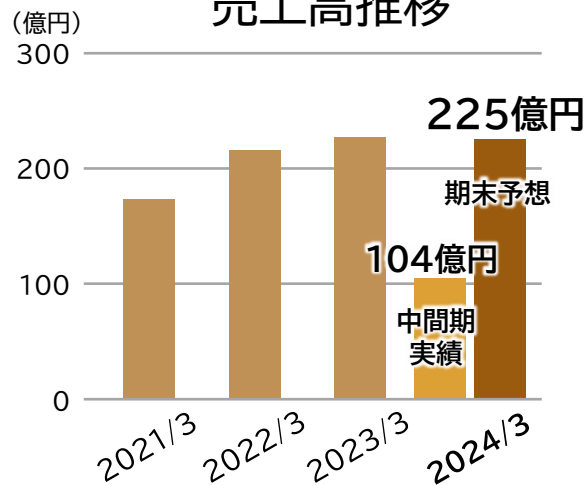




- PVC、PC、PET等の汎用・機能樹脂板を扱うプレート事業。
- マイクロモータを扱うモータ事業。
- 超微粒子、エンプラ素材、アセテート板を扱う各グループ会社で構成。
- 半導体製造設備など産業基盤を支えるものから、生活を豊かにするものまで幅広い分野に製品を提供。



売上高推移



プレート



モータ



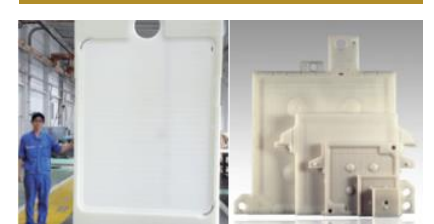
アセテート板 (取扱:グループ会社)



超微粒子マテリアル (取扱:グループ会社)



濾過板・大型切削加工 (取扱:グループ会社)



主要事業の強み

- 業界で長きにわたり蓄積した技術力
- 顧客要望に応える高機能製品の豊富な品揃え
- 強固な販売ネットワーク
- 高い品質とブランド力



樹脂板

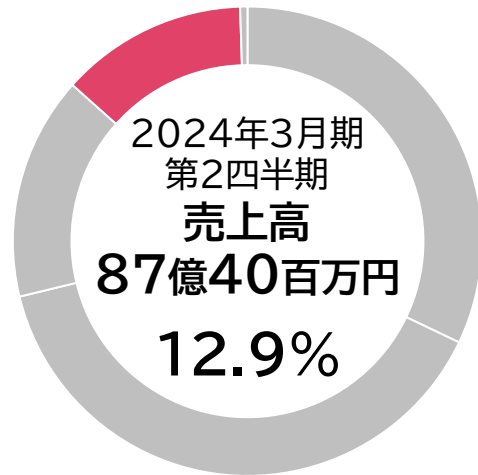


硬質塩化ビニル樹脂板「FMプレート」

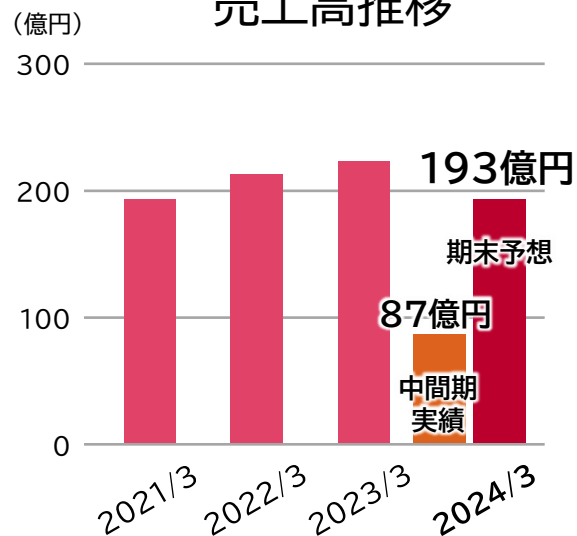




- 「ボンセット」は日本生まれのシュリンクフィルム(熱収縮フィルム)のブランドで各種素材の特性を活かし、ラベル用、キャップシール用、成形品用等様々な用途・内容物に使用。
- 「サンジップ」はプラスチックジッパーテープのブランドで食品分野をはじめ多様な分野で使用。



売上高推移



ボンセット(シュリンクフィルム)



シュリンクフィルム
用途: 飲料用ラベル等



環境配慮型製品
Bonpet Renew

サンジップ(ジッパーテープ)

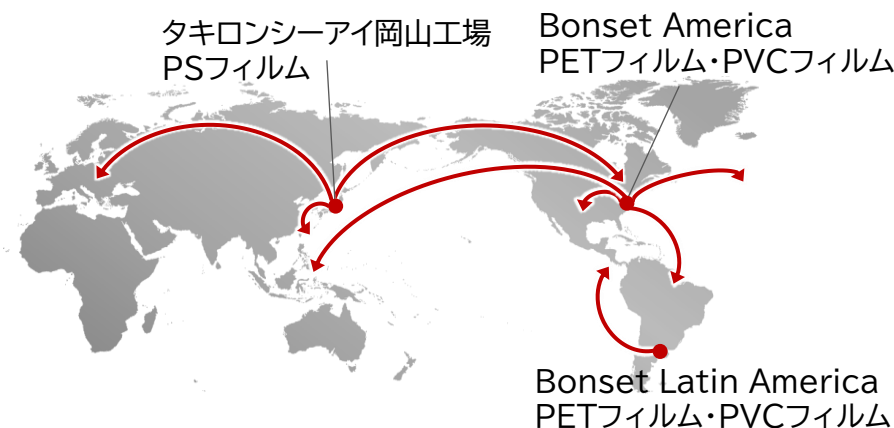


ジッパーテープ
用途: 食品包装用パウチ等



環境配慮型製品
モノマテリアルジッパー

- 世界3極体制(日本・北米・南米)により世界中の需要に対応

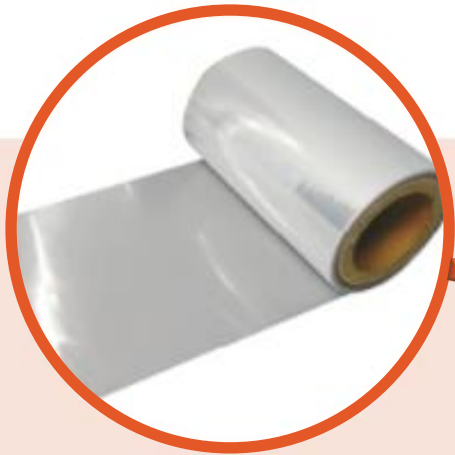


主要事業の強み

- 長年蓄積された製造加工技術とknowhow
- 独自の配合技術で用途に合わせた多様な製品の製造
- 国内(平塚・岡山)と海外(中国・アメリカ・ウルグアイ)に生産拠点を有し、グローバル最適地生産販売の構築(BCPにも対応)
- 金型の内製化によるお客様の要望へのきめ細やかな対応(サンジップ)
- 生分解、モノマテリアル、バイオマスなど環境配慮型製品のラインアップと開発の拡大



シュリンクフィルム

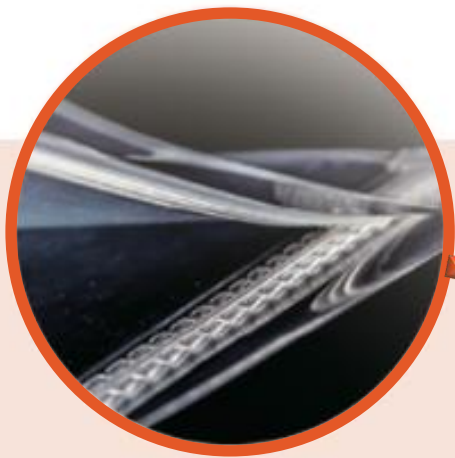


シュリンクフィルム「ボンセット」





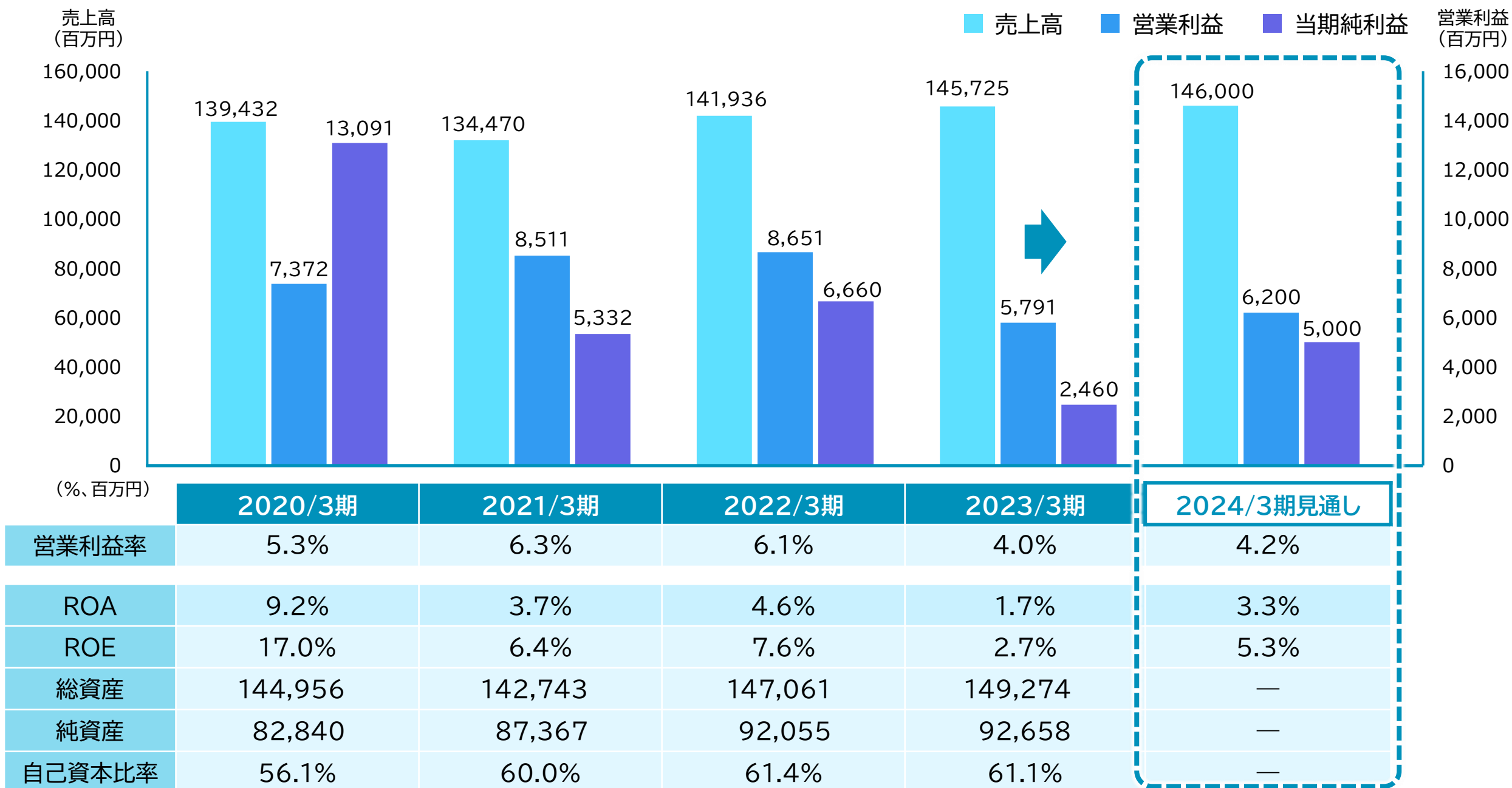
ジッパーテープ



チャックテープ「サンジップテープ」



業績推移および見通し・株価情報



2024年3月期第2四半期 実績

(百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	前期比
売上高	72,515	67,943	△4,571
営業利益	3,090	2,393	△696
経常利益	3,318	2,588	△730
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,862	1,888	25

売上高

ハウエル管復調によりインフラ事業が回復し、床材も引き続き堅調だったものの、シュリンクフィルムの北米市場低迷による大幅な減収、新設住宅着工戸数の減少等による住設建材の販売低調、半導体市況回復の遅れによる高機能材の伸び悩み等により売上高全体としては減収。

営業利益

北南米および欧州市場低迷の長期化による販売数量減少の影響で、シュリンクフィルムの北米子会社BAC※1、南米子会社BLA※2および建装資材の欧州子会社BLX※3が大幅減益。

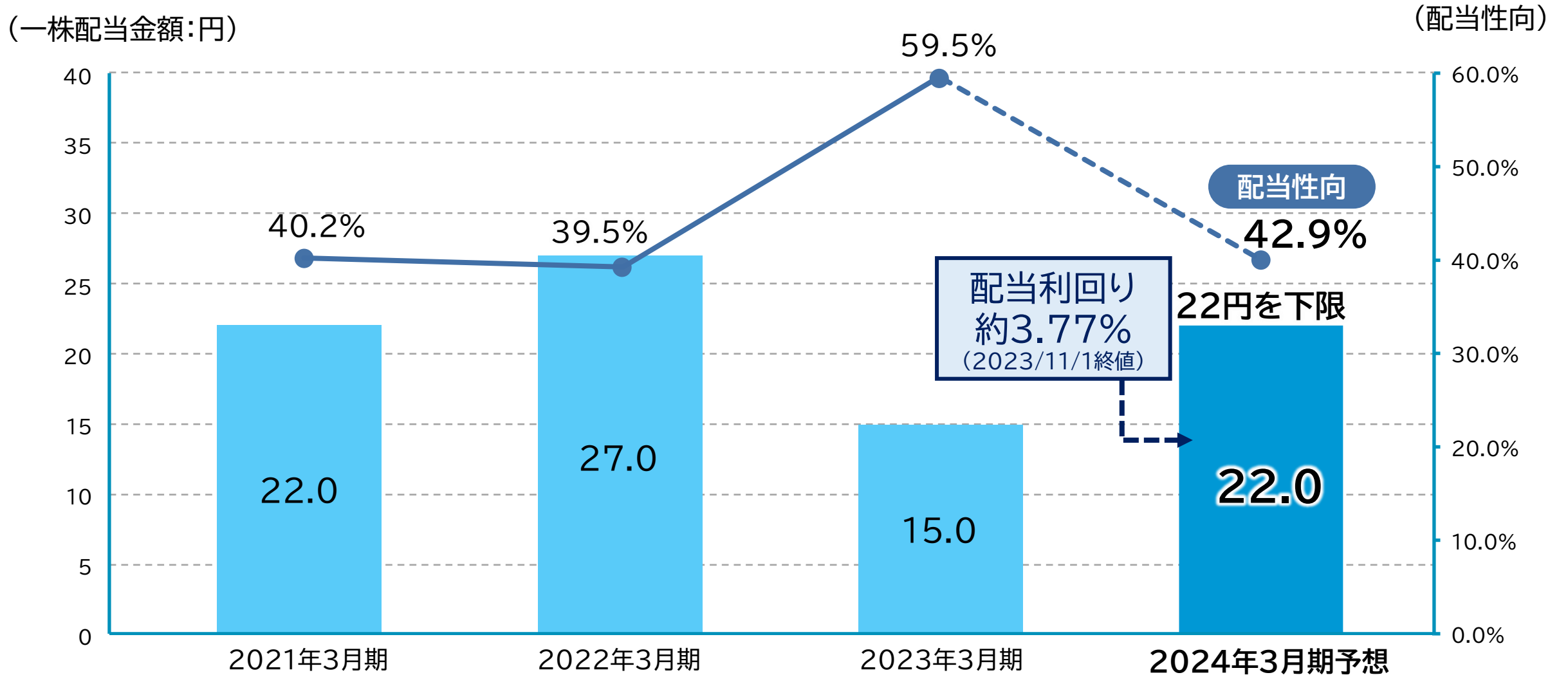
親会社株主に帰属する四半期純利益

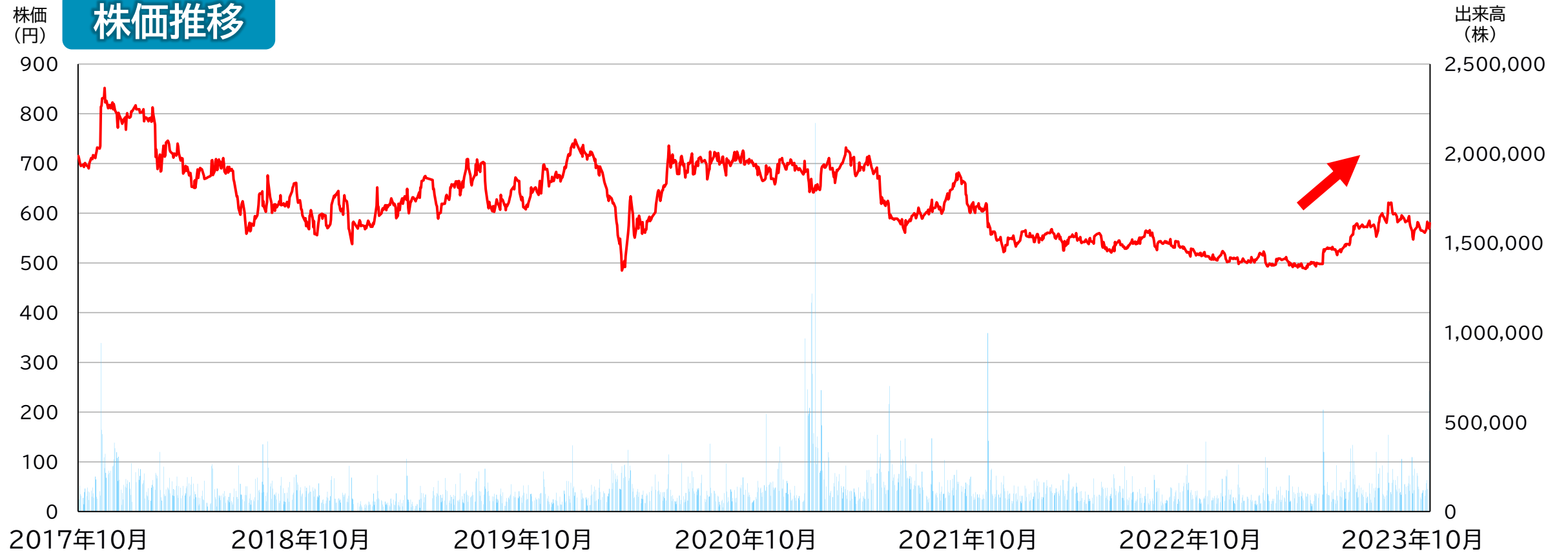
営業利益段階のマイナスがあったものの、持ち合い株式の解消による有価証券売却益等により特別損益が改善し、増益。

※1 BONSET AMERICA、※2 BONSET LATIN AMERICA、※3 BONLEX EUROPE

配当推移

■2024年3月期の配当金につきましては、**1株あたり22円を下限**としています。
 なお、配当性向の目安を40%とする当社方針に基づき、業績が計画を上回る場合は上方修正する方針です。





基本情報	
証券コード	4215
株価	594円(2023/11/13終値)
時価総額	57,973百万円(2023/11/13時点)
発行済株式数	97,597,530株(单元株:100株)

主要株価指数	
PER	11.56倍 ※1
PBR	0.62倍 ※2
年初来高値	625円(2023/8/29)
年初来安値	487円(2023/4/10)

※1 2023年11月13日の株価終値と2024年3月期の業績見通しより算出
 ※2 2023年11月13日の株価終値と2024年3月期第2四半期の決算実績より算出

タキロンシーアイの強み・成長戦略

利益の源泉

様々な事業における
トップシェア製品



ブランド力
 タキロンシーアイ

持続性のある
利益基盤を創出

建築資材事業

Top Market Share



ポリカーボネート樹脂板

Top Market Share



防滑性ビニル床シート

高機能材事業

Top Market Share



工業用プレート

Top Market Share



制電プレート

Top Market Share



アセテート板(取扱:グループ会社)
用途:メガネフレーム

環境資材事業

Top Market Share



農業用フィルム

Top Market Share



遮水シート

Top Market Share



止水板

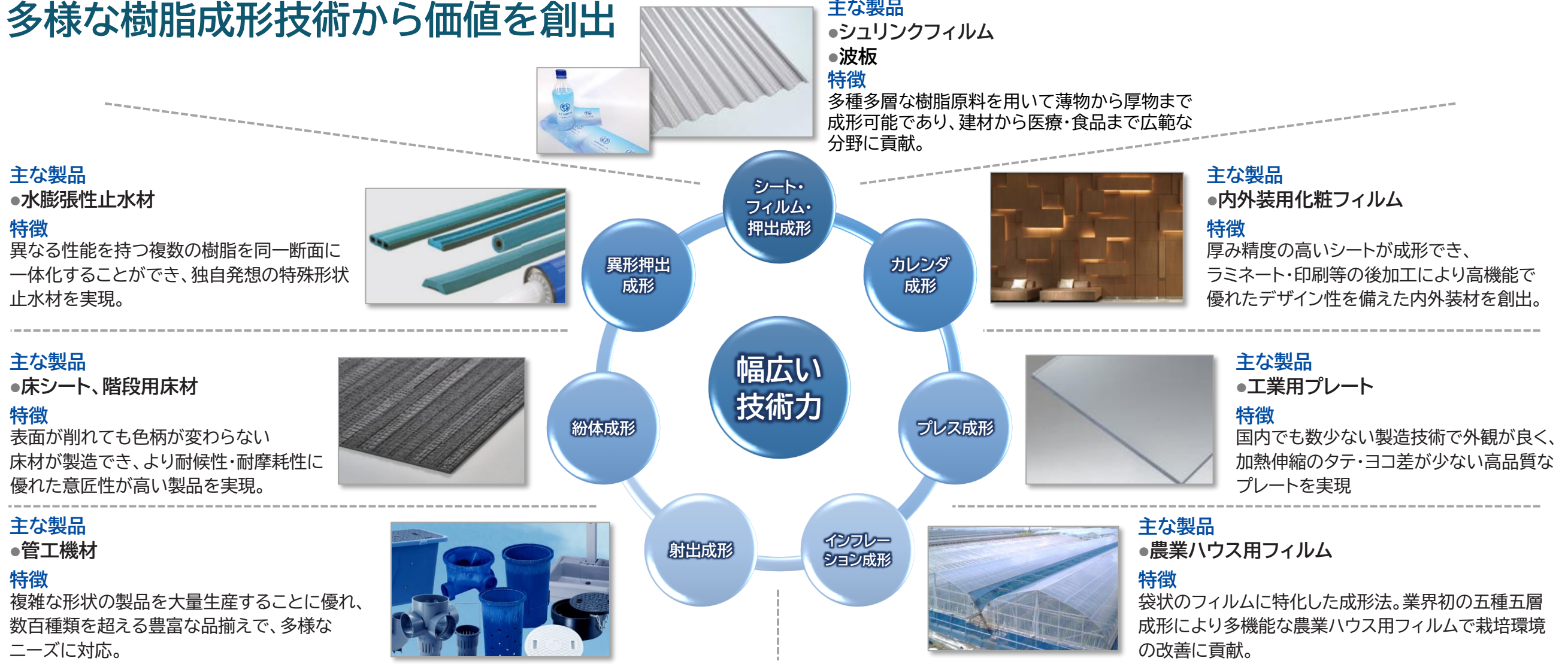
Top Market Share



水膨張性止水材

生産技術

多様な樹脂成形技術から価値を創出

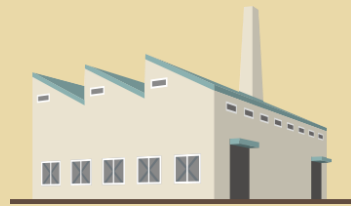


その他の成形方法: 真空成形、回転成形、中空成形、スパイラルワインディング成形、複合押出成形(鋼管・鉄線被覆成形)、固形押出成形など

成長分野への投資

▶ 半導体分野

バリューチェーン



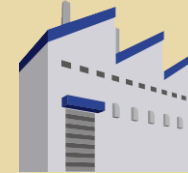
原材料メーカー



半導体・FPD製造設備向け
FM/制電プレートの生産



タキロンシーアイ網干工場



顧客
加工業者*



半導体製造装置
メーカー



ユーザー
半導体工場

PVCプレート(FM/制電)加工業者(直接的顧客)が製造装置メーカー等のユーザー要求にあった形状に加工し、半導体製造装置等の部品として使用されます。

競争優位性

- ・業界で長きに渡り培った技術をベースとする高品質
- ・ニーズを捉え顧客要求に応え続けてきた実績
- ・豊富な品揃えと高いブランド力
- ・長年の信頼関係によるグローバルで強固な販売ネットワーク

プレート生産のメイン工場である
網干工場を中心に積極投資

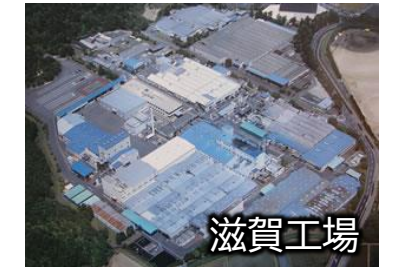
▶ M&A

各事業において常時複数の案件の検討を進めており、中長期的な収益力の向上を目指しています。

- トップシェア製品を含めた既存製品におけるシェア拡大
- 新技術獲得による研究開発力の強化
- シナジーの期待できる分野への参入による早期の収益貢献

成長分野への生産能力増強

拠点	施策	内容	稼働時期	投資金額
網干工場 第一期	プレス 増設	・半導体製造設備向けプレートの増産	2026年度	約55億円
滋賀工場	既存設備の 有効活用	・建装カレンダーシート設備の半導体用途向けへの転換		
BAC	製造ライン 増設	・北米におけるシュリンクフィルム増産	2024年度	約35億円
BLX	製造ライン 増設	・欧州における塩ビ製化粧品シートの増産	2024年度	約10億円
タキロン・ ローランド	製造ライン 増設	・眼鏡フレーム素材用アセテート板の増産	2024年度	約2億円
全工場	新生産管理 システム	・工場管理システムの刷新による合理化 ・滋賀工場、揖保川事業所を皮切りに、 2024年度以降全工場へ展開予定	2023年度～ 2026年度	約30億円
揖保川 事業所	スマート化	・AI活用、DXによる合理化	2023年度～ 2026年度	約8億円
平塚工場	自動化	・製品の包装、搬送、ストックの自動化による 合理化	2024年度	約4億円
グループ 全工場	統廃合	・生産体制の効率化・固定費削減に向け移転・ 統廃合を実施	—	—



R&D戦略

新研究所構想

現状

網干工場



▶ プレート・コンパウンド等

滋賀工場



▶ フィルム

岡山工場



▶ ナノテク

海外からの技術導入を具体的検討中

集約



M&Aや海外からの技術導入による新技術の獲得

新総合研究所

兵庫県三田市を候補として2年をめぐりに集約を検討

目的

研究開発資産の集約によりシナジー発揮

目指す成果

- 新事業・新製品創出の迅速化
- 既存製品への応用による高機能化・高付加価値化
- 成長分野の半導体やモビリティ等の市場への用途展開、新規参入

未来を支える事業の創出

持続的な成長へ



イメージ

ナノテク：物質を原子や分子のスケールにおいて、自在に制御する技術

モビリティ分野への挑戦

ポリカーボネート樹脂基材、モビリティ軽量化へ応用

ポリカーボネート製低炭素型フロント樹脂ウインドウ



合成樹脂製品の製造・加工・販売を行う当社は大手Tier1メーカー*および素材メーカーとの協業により開発した「ポリカーボネート製低炭素型フロント樹脂ウインドウ」がLEXUS初の水素エンジンを搭載したROV*のお客様向け体験プログラムに使用されるクルマに採用されました。

*Tier1メーカー
完成車メーカーに直接部品を供給するメーカー

* ROV Recreational Off highway Vehicle

地球温暖化対策として車両には更なる軽量化が求められています。ポリカーボネート樹脂のウインドウ化により約5kgの軽量化を実現することが可能となります。

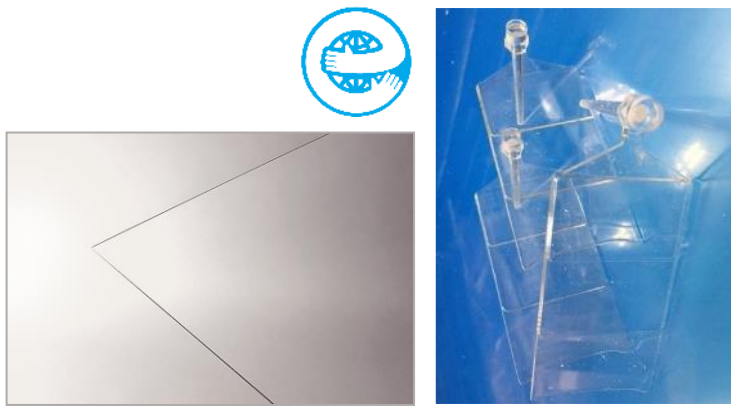
当社はかねてよりガラス代替樹脂の研究・開発に取り組んできており、ポリカーボネートシートの製造時に発生する熱収縮性による歪みを極限まで低減し、フロントウインドウとしての視認性を確保しました。

環境配慮型製品の開発

99%リサイクル材のポリカーボネートプレート

エコマーク認定取得のリサイクルポリカーボネートプレート PCECOを開発

- ほぼリサイクル材を使用したポリカーボネートプレートは業界初
- 従来品の耐衝撃性、透明性を損なうことなく製品化に成功



PCECO : ピーシーエコ。PCはポリカーボネート。
エコマーク : 環境保全に役立つと認められた商品のみにつけられる環境ラベル。

リサイクルできるPETボトルラベル

米国でのPETボトルリサイクルを推進するBonpet Renewを開発

- APR認証を取得
- ボトルからラベルをはがすことなくリサイクル可能
- 2025年には1万トンの販売を目指す



APR : The Association of Plastic Recycle

モノマテリアル包装用ポリエチレンジッパー

リサイクルしやすいモノマテリアル包装用ポリエチレンジッパーを開発

- 低温シール性に優れ、モノマテリアルパウチの生産性向上に寄与



モノマテリアル(単一素材)で製造した包装材は、リサイクルに適した素材となる。

カーボンニュートラルに向けた取り組み

カーボンニュートラル戦略

タキロンシーアイグループは2050年度カーボンニュートラル(実質排出量0)を目指します

2030年度 中間目標

Scope 1・2

35%削減(2018年度比)

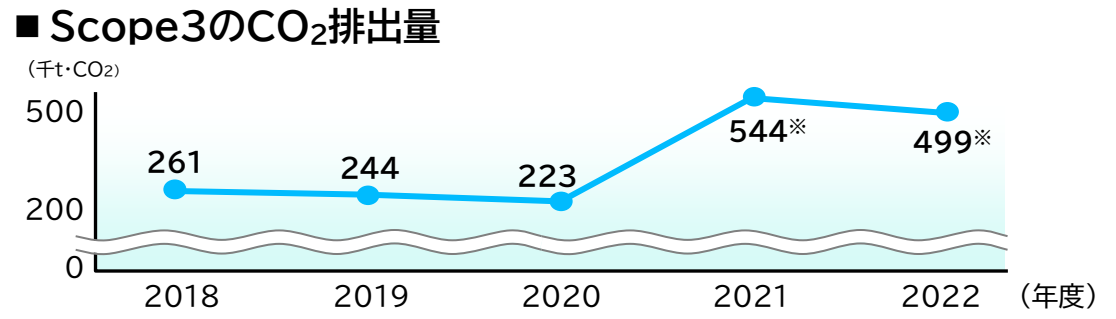
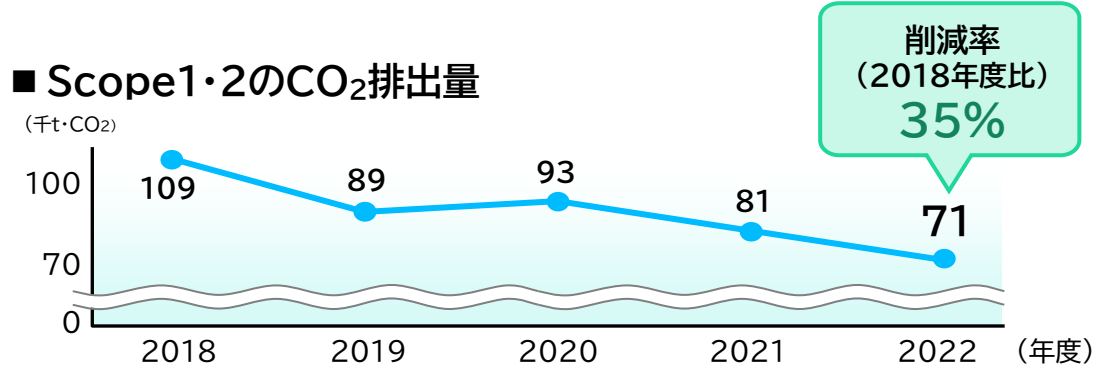
Scope 1(直接排出量) Scope 2(間接排出量)

Scope 3

サプライチェーン全体での削減

Scope 3(その他の排出量)

実績



※2021年度から算出対象をグループ全体かつ1~15の全カテゴリに拡大

「ISCC PLUS認証」取得

タキロンシーアイは本社および一部の製造拠点において、持続可能な製品の国際的な認証制度の一つであるISCC PLUS認証を取得しました。本認証は、バイオマス原料や再生原料等が製品の製造を含むサプライチェーンにおいて、マスバランス方式で適切に管理されていることを担保するものです。

ISCC : 「International Sustainability & Carbon Certification」 = 「国際持続可能炭素認証」

製品	製品名	使用樹脂	拠点
ポリカーボネートプレート	平板、波板	PC	揖保川事業所
床材シート	タキストロン、タキステップ	PVC	安富工場
化粧フィルム、化粧シート	バルビアン、ボンレックス	PVC	滋賀工場
シュリンクフィルム	OPSシュリンクフィルム	SBC	岡山工場



IRに関するお問い合わせ先

タキロンシーアイ株式会社 広報・IR室

電話:03-6711-3718

e-mail:ir@takiron-ci.co.jp

■将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。